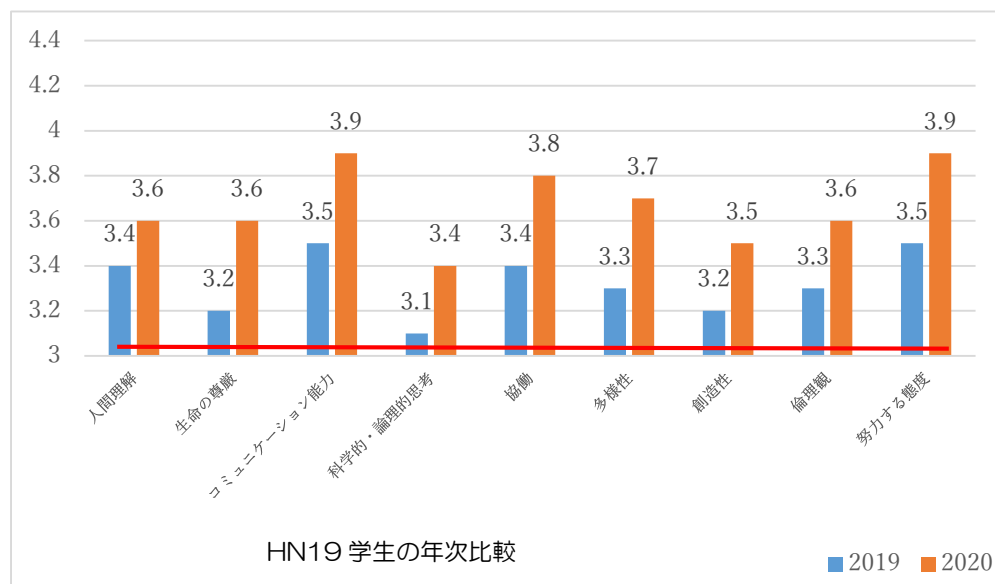
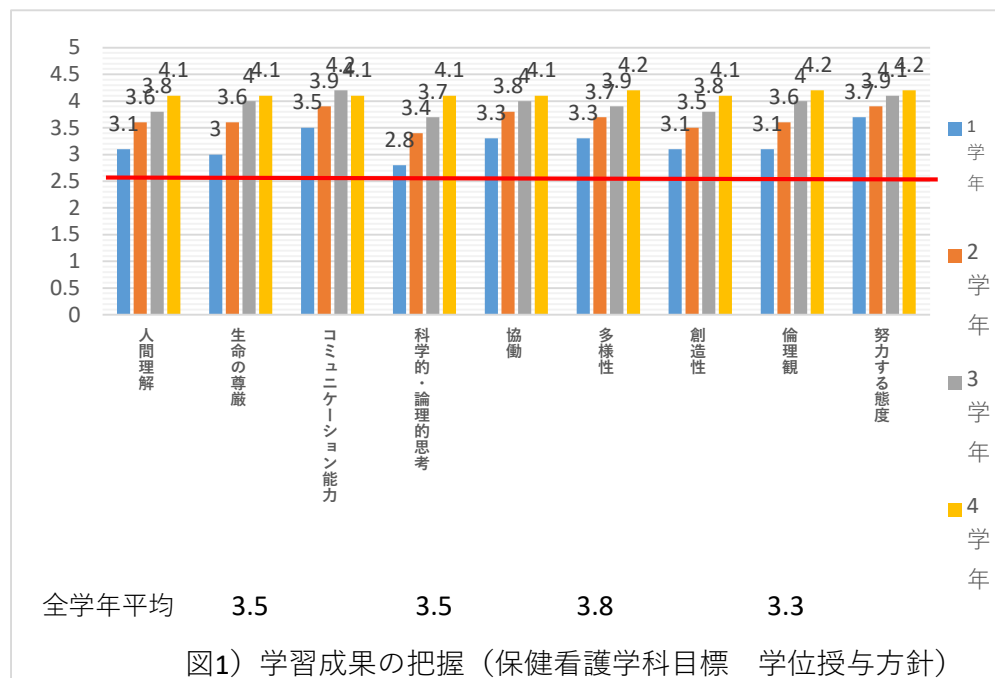


2020年度 DPに照らした取り組みの検証



2020年度保健看護学科 学修成果の把握 報告書

I. 学修成果の把握 (学科の目標 学位授与の方針)

- 各学年の分析対象数は、1年生が58名(69.0%)、2年生が71名(78.0%)、3年生が52名(56.5%)、4年生が28名(35.9%)であった。
- 全学年を通して、全ての項目及び学年において平均2.5以上であった。
- 全学年を通して高得点の項目は、努力する態度(3.9)、コミュニケーション能力(3.8)、協働(3.7)、多様性(3.7)であった。低得点の項目は科学的・論理的思考(3.3)、人間理解(3.5)、生命の尊厳(3.5)、創造性(3.5)であった(図1)。
- ほぼ全ての項目において、学年があがるにつれ平均点が上昇しており、学生は着実に学修を深めていると思われる。低得点であった科学的・論理的思考、人間理解、生命の尊厳については新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全学年臨地実習が制限され、対象者理解のための実践場面が減少したことや、学生同士が直接意見交換を行う機会が減少したことによる影響を受けたと思われる。しかし、努力する態度やコミュニケーション能力は高得点となっており、オンライン授業や自宅学習においても意欲を保ち、懸命に学修に取り組んでいたと思われる。また、限られた対面授業や臨地実習において他者とのコミュニケーションや協働の重要性も学ぶことができたと思われる。今後も教員は、社会状況に応じて工夫した授業や実習を行い、学生がより積極的に学べるよう取り組む必要がある。

HN19学生の年次比較

- HN19学生の対象数は、2019年度が57名(63.3%)、2020年度が71名(78.0%)であった。
- 高得点の項目を見ると、2019年度はコミュニケーション能力(3.5)、努力する態度(3.5)、人間理解(3.4)、協力・協働(3.4)であり、2020年度はコミュニケーション能力(3.9)、努力する態度(3.9)、協力・協働(3.8)であった。
- 低得点の項目は、2019年度は科学的・論理的思考(3.1)、生命の尊厳(3.2)、創造性(3.2)であり、2020年度は科学的・論理的思考(3.4)、創造性(3.5)であった。
- 全体的に学年が上がる毎に学びの姿勢が向上する傾向にあった。特に、生命の尊厳、コミュニケーション能力、協働、多様性、努力する態度は大きく向上が見られた。次いで、科学的・論理的思考、創造性、倫理観は確実に向上する傾向が見られた。

HN18 学生の年次比較

- HN18 学生の対象数は、2018 年度が 84 名 (92.3%)、2019 年度が 60 名 (67.4%)、2020 年度が 52 名 (56.5%) であった。
- 高得点の項目を見ると、2018 年度は多様性 (3.63)、努力する態度 (3.58)、2019 年度はコミュニケーション能力 (3.8)、協力・協働 (3.8)、努力する態度 (3.8)、2020 年度はコミュニケーション能力 (4.2)、努力する態度 (4.1)、生命の尊厳 (4.0)、協働 (4.0)、倫理観 (4.0) であった。
- 低得点の項目は、2018 年度、2019 年度、2020 年度共に科学的・論理的思考 (2.1.3.5/3.7)、生命の尊厳 (2.32/3.6/4.0) であった。
- 全体的に学年が上がる毎に学びの姿勢が向上する傾向にあった。特に、生命の尊厳、コミュニケーション能力、科学的・論理的思考、協働、創造性、倫理観は 1 年次から 2 年次にかけて大きく向上が見られた。

HN17 学生の年次比較

- HN17 学生の対象数は、2017 年度は 70 名 (86.4%)、2018 年度が 69 名 (88.4%)、2019 年度が 16 名 (20.5%)、2020 年度が 28 名 (35.9%) であった。
- 高得点の項目を見ると、2017 年度はコミュニケーション能力 (3.4)、努力する態度 (3.4)、2018 年度はコミュニケーション能力 (3.8)、倫理観 (3.74)、協力・協働 (3.7)、2019 年度は、努力する態度 (4.3)、生命の尊厳 (4.2)、2020 年度は多様性、倫理観、努力する態度が共に (4.2) であった。
- 低得点の項目は、2017 年度は生命の尊厳、創造性、倫理観 (3.1)、2018 年度は科学的・論理的思考 (3.43)、創造性 (3.45)、2019 年度は創造性 (3.45)、協働 (3.7)、2020 年度は全て 4 以上であった。
- 全体的に学年が上がる毎に学びの姿勢が向上する傾向にあった。特に、人間理解、科学的・論理的思考、多様性、創造性、倫理観は大きく向上が見られた。

